

語り継ぐ…

平和セミナー

10月2日(土)前橋問屋センターにおいて、連合群馬「平和セミナー」を開催しました。平和運動は沖縄・長崎・広島・根室の集会に参加するだけではなく、新たな取り組みとして、6月から「折り鶴」の作成を行い、職場や家庭で平和を考えるきっかけづくりとしました。そして語り継ぎを重視するため今回のセミナーを企画しました。



セミナーは平和行動に参加した団員や構成組織の組合員など120名が参加する中で、はじめに広島派遣団の中村弥和さん(女性委員会・恵風会労組)、続いて長崎派遣団の永井直樹さん(青年委員会・NTT労組)、根室派遣団の櫻井祐貴さん(信越化学労組)、沖縄派遣団の高橋慎一さん(東電労組)の報告を受け、特に櫻井さんから「四島が間近に見える根室、納沙布には『返還』の多くの看板が掲げてあった。北方領土返還が実現されるまで、全国的な国民の世論喚起が必要。」との報告を受けました。

最後に、連合の国後島ビザなし交流「連合の船」に参加した鈴木克幸さん(サンデン労組)から現地の実情や交流の内容などの説明を受けました。

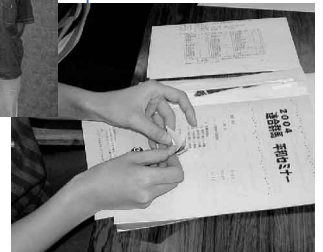
次に語り継ぎのビデオ学習として、沖縄戦の語り部による「学徒動員としての実情が報告され、爆撃で手足を失った負傷者の看護や手当てもされないまま亡くなった遺体の埋葬などの様子。また、米兵に浜辺に追い詰められ級友が自ら手榴弾を命を失った様子」など、戦争による悲惨な体験談を伝聞しました。

来年は戦後60年、「時代の選歴」とも呼べる節目の年です。連合群馬の平和活動も年間を通した運動として一層充実し、職場や家庭で平和を考える活動をして行きたいとまとめ、セミナーを終了しました。



左から鈴木さん、櫻井さん、永井さん、中村さん、高橋さん

休憩時間に「折り鶴作成」



最東端で四島の早期返還への しま 思いを深める

連合2004平和行動を締めくくる「平和行動in根室」が9月24～27日の日程で実施され、連合関東ブロック代表団の一員として連合群馬から12名(全体では109名)が参加しました。

根室で行われたフィールドワークでは、6つのセミナーが開催され、北方領土問題や四島(しま)のおかれた状況などについて知識を深めました。

また、ノサップ岬での集会では、集会に先立ち根室市や観光協会・根室漁協の協力によるふるさと祭りが行われました。北方四島を目前にした集会では、国・道・市などによる取り組みの報告をはじめ、連合が初めて実施した国後島のビザなし交流の報告や元島民の訴えなどが行われ、2,000人の参加者全員が早期返還に向けて心をひとつにしました。



連合群馬の参加者12名

海の向こうは国後島↓



列島クリーンキャンペーン 各地で開催



雨の中で花火大会後のごみ拾い(8.29 伊勢崎地協)



家庭ごみの新分別方法、環境基本計画について「環境問題を考える学習会」(9.29 前橋地協)



西毛運動公園・清掃活動(9.26 安中地協)

その他の地域は・・・

- 玉原高原クリーン作戦・自然観察会(5.23 沼田地協)
- 草津白根山頂付近(8.21 吾妻地協)
- 富岡北部運動公園周辺道路清掃(9.4 富岡地協)
- 太田金山下草刈・清掃(9.5 太田地協)
- 南部幹線道路他下草刈・清掃(9.11 渋川地協)
- 松原橋周辺清掃(9.26 桐生地協)
- ららん藤岡清掃(10.24 藤岡地協)
- 高崎クリーン街中ウォークラリー(10.30 高崎地協)
- プランター寄贈(11.8 館林地協)

・・・参加された皆さんおつかれさまでした。